



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[4月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.41」テキサス州立大学 理工学部工学科 助教授 池端慶祐氏に聞く 新しい水資源を安全・有効に利用する～「クロズド・ループ直接飲用再利用」を推進～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎令和2年度の「家庭部門のCO2排出実態統計調査」協力依頼…環境省 ◎簡易型河川監視カメラ画像のウェブ提供を開始しました…国土交通省 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告(概要)…国土交通省 ◎新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者対策を講じます(危機関連保証の発動、セーフティネット保証5号の追加指定等)…経済産業省 ◎新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者対策を講じます(セーフティネット保証4号の指定)…経済産業省 ◎日本政策金融公庫が新型コロナウイルス特別相談窓口開設…経済産業省 ◎分譲マンションの購入価格は年取倍率で約5.6倍…国土交通省 ◎「持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド」(第2版)…経済産業省 ◎平成30年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査の結果(確報値)…環境省 ◎消費者の購買心理や体感物価を捉える新たな指標を開発しました…経済産業省 ◎住宅の不動産価格指数57ヶ月連続して前年同月比で上昇…国土交通省 ◎「明日への道標」人間と産業の危機を救う～パズル業界の秘訣～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎LIXIL お悩み解決! 業界初のキッチン水栓専用取外し工具「とれマスター」新登場!…月刊コア編集部 ◎「東京プラリルポ」武蔵野の湧水池白子川の源流と武蔵関公園、善福寺公園の散策…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集 (12)一平成一人百首…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話」あそこがだんだん大きくなる…低空飛行機 ◎「特別レポート」鋼管ルネサンス・配管ゼミナール誌上公開講座(3)…IDE研究所 井出浩司 ◎「数遊びその12」おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎建築着工統計[2020年1月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[5月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.42」北海学園大学 工学部社会環境工学科 准教授 安藤直哉氏を訪ねて 中小規模水道の課題解決に取り組む 膜技術を活用し水道事業の持続を…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「生活を守る」プロジェクトチームの設置について…厚生労働省 ◎住宅ローン減税の適用要件が弾力化されます～新型コロナウイルス感染症の影響で期限内に入居できない方へ…国土交通省 ◎新型コロナウイルス感染症に係る雇用維持等に対する配慮について、関係大臣と連名で関係事業者団体に要請します…厚生労働省 ◎第22回日本水大賞の各賞を決定…国土交通省 ◎令和元年度東京湾環境一斉調査 調査結果の公表について…環境省 ◎住宅ローン、変動金利型が根強く～「令和元年度民間住宅ローンの実態に関する調査」の結果～…国土交通省 ◎防災拠点となる官庁施設の浸水性能を見直します…国土交通省 ◎地域団体商標ガイドブック～地域ブランド10の成功物語～を発行…経済産業省 ◎「明日への道標」終始一貫 命の杖に～北里柴三郎 役に立つ医道～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新連載」どうする? 地方小規模水道 (6-最終回) 丹保憲仁・北大名誉教授 富良野市の小規模水道現地を歩く…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「東京プラリルポ」水道はコロナウイルス対策の要だ…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集 (13)一平成一人百首…弁護士 野平大魚 ◎「フォトレポート」新・撮った写真が5万枚!?…IDE研究所 井出浩司 ◎「数遊びその13」おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎建築着工統計[2020年2月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

緊急事態措置の解除に伴って政府の専門家会議が「新しい生活様式」への移行を促している。新型コロナウイルスの感染防止対策として何よりも「身体的距離の確保」が不可欠だという。具体的には「人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける」、「会話をする際は、可能な限り真正面を避ける」、食事のときは「対面ではなく、横並びで座ろう」などの所作を例示している。

いずれも密集・密閉・密接の三密を回避するのが狙いだ。とはいえ実際にこれらの事例を仕事や家庭や自由時間に適用することは可能だろうか。発症したときの感染経路を特定するために「誰とどこで会ったかをメモする」という項目もある。端的にいうと日常生活で接する相手を互いに監視するということだろう。

人間関係における身体的距離は精神的距離と深くかかわっているとわたしは考えている。心身は一体であり、機械のように簡単に切り離すことはできない。わたしは身体的距離を遠くすることで生じてくるコミュニケーションの劣化をパンデミック=世界的流行の再来と同様に危惧している。

コミュニケーションは言語、表情、身振りなどによる情報伝達にとどまらず互いの意志、感情、思想などを通わせる精神的交流でもある。ドイツを代表する哲学者ハーバーマスは近代社会に特徴的な自己中心的行為にコミュニケーション的行為を対置した。世界的な危機の時代に争っている暇はない。コミュニケーションの語源を想起する。ラテン語で「わかちあう」ことだ。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第367号

令和2年6月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884